

ルクセンブルク大学紹介

University of Luxembourg

<http://www.uni.lu>



～多言語国家・EU第2の首都 ルクセンブルク～

大学の概要:

2003年創立の公立大学。学生数は約6200人で、うち学部生が約3000人、大学院生が約2000人。57%が外国人学生で、Times Higher Education (THE) 世界大学ランキングの「国際性」では世界1位(2016年)を獲得しています。

学部はFaculty of Science, Technology and communication, Faculty of Law, Economics and Finance, Faculty of Language and Literature, Humanities, Arts and Educationの3学部です。12の学士号、32の修士号があります。大学の特徴は国際性(学生は110カ国より就学、80カ国籍の職員がいます。)及び多言語(仏語、英語、独語)での教育システムがあげられます。留学生の募集としても、仏語、独語、英語で募集をしています。英語のみ、フランス語のみなど、1言語での科目選択も可能ですが、希望する学生には、仏語の科目と英語の科目、独語の科目と英語の科目など、組み合わせで履修することも可能で、留学期間中に複数の言語を同時に学ぶことができます。仏語、独語が国の公用語として使われているため日常生活でも使用できます。

欧州の中心に位置し、欧州有数の金融センター、またEUの機関や多くの企業が拠点をおく立地をいかし、リサーチにも重点を置いています。計算科学、ICTセキュリティ、国際金融、法学(特にEuropean Law及び商法)、教育科学、生体臨床医学の分野に特化しています。

文化活動として、音楽、ダンス、スポーツ等の活動や、学生グループ主催のイベント、また大学からはルクセンブルクにあるEU欧州司法裁判所や国のルクセンブルク国家諮問院などへの見学の機会もあります。

上智大学の海外拠点の一つであるルクセンブルクオフィス

もあります。オフィスはルクセンブルク大学ベルバルキャンパス内にあり、日本人スタッフが交換留学生の支援にあたっています。

また交換留学生が希望すれば、ルクセンブルク大学学生課がルクセンブルク大学の学生と協力し、交換留学生の手助けをするバディ制度も利用できます。ルクセンブルク到着時にはルクセンブルク国際空港から寮、大学までの案内や、大学生活中の細々とした質問もバディ学生に聞くことができる制度です。



ルクセンブルクオフィスの様子

キャンパスについて:

ベルバルキャンパス

ルクセンブルクの南にあるベルバル市にベルバルキャンパスがあります。ベルバルキャンパスには人文科学教育学部と科学技術通信学部があります。人文科学教育学部には欧州文化、心理学、教育学、社会科学学士があります。このキャンパスは2015年にルクセンブルク市より移転し、全ての施設がとても新しく近代的で、寮からも近く便利です。大教室でパワーポイントを使用した授業、また図書館、IT環境も充実しています。ルクセンブルク市から直行の電車があり、キャンパスからベルバル駅まで徒歩3分、駅周辺にはスーパーや映画館のあるショッピングセンターもあり生活しやすい環境です。



リンペスベルグキャンパス

法学経済金融学部はルクセンブルク市リンペスベルグキャンパスにあり、欧州連合の機関（欧州司法裁判所、欧州投資銀行等）また金融業、通信産業地域の近くに位置しています。旧フランススコ修道会が使用していた建物で趣きのあるキャンパスです。



学生寮について

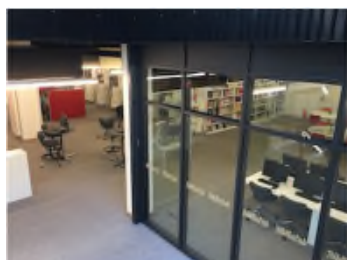
*15平方メートル家具付き一人部屋
(バスルームとキッチンシェア。光熱費やインターネット費込)
平均月約360ユーロ。

*19平方メートル家具付き一人部屋
(プライベートバスルーム。キッチンはシェア。光熱費やインターネット費込)
平均月約440ユーロ。

*写真は19平方メートルタイプ



図書館の様子



ルクセンブルクについて:

正式名称をルクセンブルク大公国といい、東京都よりやや小さい国土面積を持つ小国。人口約58万人(2016年)。うち外国人が45%を占める国際的な環境にあるため外国人にも居住しやすい。公用語がルクセンブルク語、仏語、独語。地域により言語が変わるのではなく、一人の人が全ての言語を話すという意味での多言語国家である。銀行業、再保険など金融サービスを中心としたユーロ圏を代表する国際金融センターであり、またEUの第2の首都とも言われEUの機関(欧州司法裁判所、欧州投資銀行、会計監査院、統計局等)が集中する場所でもある。

近年では情報通信産業の振興にも重点をおき、欧州最大の放送メディアRTLグループ、衛星放送事業SES S.A.も拠点を置く。国内全域において光ファイバーによる高速回線が利用可能であり、インターネット関連会社(Apple, eBay, Skype, 楽天など)も多く拠点をしています。

経済的・政治的にも安定しており、高い生活水準、また首都の旧市街は世界遺産にも登録されており、観光地としても人気がある。郊外は自然が豊かで欧州の緑の中心とも言われている。



街の様子



欧州司法裁判所



ルクセンブルク新市街



ルクセンブルク旧市街

Welcome day (日本の大学の入学式にあたるもの)の様子



レセプションの様子



ホールにて学長挨拶



大学語学センターのブース



文化活動の情報を聞くことができる



学生課のブース



ホール内カフェテリア

ショッピングセンター(ベルバルキャンパス隣)



ルクセンブルク大学で履修可能な授業内容の例

ルクセンブルク大学人文科学教育学部は欧州文化学科、心理学学科、教育科学学科、社会科学学科があり、例えば、欧州文化学科の中にはEnglish Study, French Study, German Study, History, Philosophy と5個のプログラムに分かれています。

人文科学教育学部・欧州文化学科の各 Program で履修可能な授業科目として、下記の科目(抜粋)があります。

(最後に科目表添付あり)

English Study Program (履修言語:英語)

Literatures in English: Form and Performance

Linguistics in the Real World

Close Reading

Popular Literature

Language System: Grammar / Phonetics

Imagining the Future: Utopia and Dystopia

Romanticism and the Gothic

American Studies I: American Ideas and Ideals

Imagined Communities: Narrative and National Identities

Introduction to English Linguistics

French Study Program (履修言語:フランス語)

Panorama de la littérature française du Moyen Âge au XVIIIe siècle

Genres Littéraires du XVIIIe siècle. Oeuvres essentielles

L'imaginaire (littéraire et artistique) de Paris

Pratiques de l'expression critique écrite : le commentaire composé

Linguistique française 1, I : Introduction à la linguistique française : de la phonétique à la description de la phrase

Histoire et esthétique de la poésie de langue française

Variétés régionales et sociales de la langue française

Pratiques de l'expression écrite : la dissertation littéraire et l'analyse linéaire

Culture française de la Renaissance

German Study Program (履修言語:ドイツ語)

Einführung in die germanistische Linguistik

Einführung in die Mediävistik

Die deutsche Literatur des 20./21. Jahrhunderts

Systematische Aspekte: Fremd- und Lehnwort im Deutschen

Dramentheorie und -analyse

Interkulturelle Kommunikation

Medientheorie und Medienanalyse

Soziolinguistik/Dialektologie

Systematische Aspekte

Kulturgegeschichte und Kulturtheorie der Moderne